

## 会 議 録

1 会議名	平成19年度第4回宇都宮市上河内自治会議
2 開催日時	平成19年7月26日(木) 午後2時～4時
3 開催場所	宇都宮市上河内地域自治センター2階会議室
4 出席者	<p>【委員】江連俊, 手塚敏子, 沼田良, 古橋悟一, 青木定夫, 江連功, 小嶋耕一, 齋藤功, 齋藤和之, 佐藤きよ子, 柴田征男, 利根山則夫, 古橋正好, 松田仁一, 和田春海, 大木清茂, 小野三朗, 北見幸夫, 佐藤和男</p> <p>【事務局】上河内地域自治センター所長, 地域経営課長, 地域経営課主幹, 地域経営課長補佐 ほか7名</p>
5 公開・非公開	公開
6 傍聴者数	<p>【傍聴者】なし</p> <p>【記者】1社</p>
7 会議経過	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 協議事項</p> <p style="padding-left: 20px;">・合併市町村基本計画の執行状況についての答申書について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>

議 事	
3 協議事項 合併市町村基本計画の執行状況についての答申書について	
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合併市町村基本計画の執行状況についての答申書を議題とする。なお, 第3回の自治会議において意見が集約され概ねの方向性が決まり, 7月10日のグループ会議でさらに検討されたので, その内容を各グループリーダーから発表願いたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起草グループでは, 地域にとって大型商業施設の誘致が欠かせないことから, 「3 上河内地域のめざす姿」の中で, 地域が求めている考えを積極的に記載してはどうかとの意見が多かった。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査グループの意見として, 「3 上河内地域のめざす姿」の中で「地域経済の核となる商業施設」という表現について, 大型商業施設が地域にとって経済発展の核になるかどうか疑問に思えることから, 表現を変えたほうが良いのではないかという意見があった。</li> <li>また, イベントや地域スポーツ大会等については地域の横の繋がり</li> </ul>

委員	<p>を持つ上で非常に大切であるため、継続できるような内容を加えるべきという意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報グループでは、地域からの意見の強さを示すため、主要事業に優先順位を付ける方向で検討した。特に早期着手を望む事業である農産物直売所等整備事業は、県道小林・逆面線沿いの宮山田地域の活性化に不可欠であるため優先順位を高くし、地域交流館整備事業と農産物直売所等整備事業の記載順を入れ替えるべきであるという意見があった。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以上の内容を踏まえ、調整会議において最終的な答申（案）がまとめられたので、事務局の報告をお願いします。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月17日の調整会議においては、「3 上河内地域のめざす姿」の中で、大型商業施設を「地域経済の核」とした表現について検討し、「地域経済の牽引役」という表現に修正した。</li> </ul> <p>また、13の主要事業の優先順位を総体的に再検討して一部入れ替えし、最終案ができた。</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは各委員からの質疑、意見をお願いします。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この地域は公共交通機関や医療施設が少なく、買い物や通院に苦慮する状況にある。合併により新市となった今、地域の生活レベルの質を上げるためには大型商業施設を牽引役とした居住・医療・福祉などの環境整備が必要だ。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内にあるスーパーマーケットへの買い物客は、地域の住民だけではなく富屋地区、篠井地区などからの利用も多いと聞いている。南部には他町をまたぐ大型商業施設があることから、市全体のバランスある発展のためにも北部にこのような施設を配置させるべきではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県にオープンした大型商業施設では東京都や他県の広い範囲からの集客が多いことから、地域内に同様の施設が誘致出来ればスマートICを活用した広い範囲からの集客が見込まれ、北部の広域的な商業拠点となるのではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地の活性化が重要性を増している中で、周辺部の開発について慎重になることは理解できるが、上河内地区、河内地区、篠井地区、富屋地区を含んだ宇都宮市北部地域の活性化の拠点として上河内地域に大型商業施設の誘致を進めるという考えであれば、その必要性も理解できるのではないか。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「5 合併市町村基本計画に関連した地域の要望」のうち「(仮称)モラージュ(大型商業施設)誘致推進」については、中心市街地と</li> </ul>

<p>委員</p> <p>委員</p> <p>会長</p> <p>会長</p>	<p>周辺部のバランスが取れた宇都宮市全体の発展を視野に入れた必要性を記載するよう事務局に願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他に意見があったら願います。</li> <li>・住民の声が届くような10万人規模の地域行政を推進し、行政と住民が協働により事業展開ができるような構想も将来的には必要だろう。</li> </ul> <p>・サマーフェスティバルや産業文化祭などのイベントは、地域の連帯感を醸成するうえで必要なため、今後、財源確保を含めた事業の継続を検討してもらいたい。</p> <p>・これまでの4回にわたる全員の会議と4回の代表者の調整会議における委員各位の熱心な議論により、実効性の高い答申書を作ることができた。</p> <p>本日の意見を受けた内容の一部修正については、事務局と調整のうえ会長一任ということによろしいか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確定した答申書については、8月9日に私から市長に直接手渡し、自治会議の状況を報告させていただく。</li> </ul>
<p>4 その他</p>	
<p>会長 事務局</p> <p>会長</p> <p>委員 事務局</p> <p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「4 その他」について、何かあったら願います。</li> <li>・第3回上河内自治会議の会議録については特に問題がなかったことから、このまま公開とさせていただく。</li> <li>・これからの自治会議は、11月、1月、3月の3回の開催を予定している。</li> </ul> <p>・自治会議として前半は「合併市町村基本計画の執行状況について」の答申づくりを行ってきたが、後半は「まちづくりに関する提言」をまとめることが柱になると思う。これからは、皆さんが地域住民の声を吸い上げ、その声を反映した提言ができるよう、積極的な意見交換をしてもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員からのまちづくりへの提案を参考には出来ないだろうか。</li> <li>・元になるのは各委員からの提案であり、さらに地域住民の声ということになるだろう。</li> <li>・まずは、まちづくりに関する基礎知識を得ておく必要があることから、勉強会の開催を考えている。</li> <li>・是非、機会を作ってほしい。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から提案のあった勉強会は賛成だ。現在のグループ分け以外に農業グループや教育グループなどを作り，専門的知識のある担当課長などを講師に招き，まちづくりの参考にさせてもらうというやり方もあるだろう。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会長会議に出席してのことだが，まちづくり組織の設立が話題となり，自治会議の中でまちづくり組織の設立を検討してもらえないかという話もあった。今後，まちづくり組織を検討することは出来るのだろうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会などを持ちながら各委員の意見を集約し，方向性について提案ができればと思っている。</li> <li>・あまり焦らずに地域の中でじっくり話し合い，みんなが納得できる組織づくりをしていく必要がある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり組織をこれからどうするか，非常に悩んでいる。まちづくり組織をじっくり練り上げることは十分理解できるが，練り上げるための手法はだれが先導していくのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりを進めるためには，地域の理解が前提条件になる。当面の数回の会議で方針が出るものではないことから，目標として2年ぐらいを目安とし，市民協働のもとに検討を進めていきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政として任意団体の支援をどの辺まで考えているのか説明願いたい。合併後の移行期に行政からの支援がないと運営は非常に大変である。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧市域と旧町域では異なった点が多くすぐには合わせられないことから，スムーズに移行できるよう，行政と地域住民が一緒になって対応していきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・任意団体への活動支援については，センター間でも開きがあるようなので歩調を合わせてもらいたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターは地域との連携を図りながらまちづくりを進めてほしい。合併だから何でも仕方ないと片づけるのは理不尽である。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり組織の設立については大きな課題があることから，今後の会議等で整理していく必要があるだろう。</li> <li>・以上をもって第4回宇都宮市上河内自治会議を終了する。</li> </ul>